



No.15 2007.6

news

BIZ 島田節子

400-0032 甲府市中央2-9-12

TEL/FAX 055-227-5927

biz@setuko.jp <http://www.setuko.jp>

《BIZ をアピール！》

ある会合でBIZの作品をプレゼンテーションする機会が与えられた。国内優秀小売店の集まり。ビジネスに疎い私には、一人一人の話が身を乗り出す程おもしろい。世界地図が動いているようだ。ゲストのセミナー、ダイヤモンドの話は知識の伝達ではなく、歴史と世界情勢の中のジュエリーとダイヤモンドの位置づけが感じられ興味深い。次もぜひ聞けたら、と思ったものである。ダイアへの偏見があった私。ちょっとだけ変わりましたね。何か良い気分。ところでプレゼンの時、そんなお歴々の前ですよ。キャリアも知識も乏しい私。どぎまぎで、やあ難しいですね、自分をアピールするのって。その後の懇親パーティー。今度は社交下手を露呈。

海風うけながら、いいトシして未熟な私を恥じていました。

《欠込み（かっこみ）ということ》

右写真は欠込みという手法で創られたもの。欠込みは彫刻などの折、大きな石からおおよその形になる迄何種類ものノミを使い削りおとしていく手法をいう。最終的に石は、2/3～1/2 までになる。現在では機械でサイコロ状に切りカットに廻す。だから一個一個手作業のこの味は出せない。と以上の事は山梨県立宝石専門学校ジュエリーマスターの先生に聞いた。この手の石はニューヨークで買っていた。これが日本で入手できないか。

ところが、である。技術者が絶えてしまっている。やっと探して創ってもらったが、長年使っていない老人の手はもう動かない。それで先の先生を探しあて、試し創り打ち合わせすでに4回、この段階で20個から8個だけ残った。



ラフな茶水晶も知性的かつ

モダンなペンダント兼リングに



いつもネックレスに使われている

後は途中で割れた。一見何気ない石コロのようなのは、このようなプロセスで創られていたのです。自然のように見えながら（これが大切！）肌にも当たらず滑らか。“もの創り日本、衰退”の言葉が浮かぶ。

※どうして日本で創れないのか？ニューヨークでこれを扱っている彼から聞いた話は次回に・・・。

《サボテンの意志・メダカの夢》

～サボテン&メダカレポート～

度々の不在による水不足にも耐え、ますますユニークでキュートな形に成長したサボテン群。思いもしない所からあらぬ方向にのびるその手。お客様もジュエリーの向こうのサボテンに思わず歓声。又冬の間は小さな体を甕の底に潜ませ、時折水面近く来ても何かの気配に素早く消えてしまっていたメダカ達。それが何と今は金魚の赤ちゃん(?)程に成長し、手を水に入れても逃げる気配すらない。

彼ら彼女らは多勢に世話をやかれ、ほめられ得意なんでしょうかね。それとも飼い主を信じて居心地が良い？



とってもキュートな彼らのスタイル

《人の心に滑り込む透明な天使》

銀線ルチル・ブラックダイア

ピンクサファイア・ダイア

K 1 8 WG



展示会情報

ジャパージュエリーフェア 8/29～8/31